

東北工業大学の教育DX

# 授業録画配信システム

工業大学らしい  
先進的な授業支援のカタチ

東北工業大学ではLMS(学修管理システム)を用いたこれからの教育DXをいち早く取り入れ、さらに対面授業を録画配信する「授業録画配信システム」の整備を進めました。学生自らが学び方をアップデートすることを期待し、そのための環境を構築しています。

## 東北工業大学の「授業録画配信システム」の特徴

「授業録画配信システム」は教室で開講される、ほぼ全ての対面授業科目を録画配信して、後から復習用に活用できるシステムです。自分自身で振り返りを行うことは能力を高める上でとても重要です。このシステムを活用して、しっかり学びましょう。



### 授業に集中できる

大学の授業では、自ら考え理解することが非常に大切です。授業時間内に、「ノートを取るのに一生懸命で授業内容が理解しきれなかった」、という場合でも、後から授業を録画で見直すことができるので、授業に集中して取り組むことができます。



### 復習に活用できる

大学の授業では、専門用語がたくさん出てきます。内容も濃く、授業を一度聴いただけでは理解が難しいこともあります。このような場合でも、録画を視聴すれば、自分のペースで何度も繰り返して学修することができるので、復習やテスト勉強に役立てることができます。

## 学生に高評価の「授業録画配信システム」



工学部  
情報通信工学科 2年

普段から授業の復習のために録画を活用しています。早ければその日のうちにLMSに公開されるので、帰宅後すぐに復習することができて、すごく役立っています。録画を見返すことで、授業の理解が深まりました。



建築学部  
建築学科 3年

課題等でレポートを作成する際、内容を確認するために授業の録画を見返しています。周りの友人も使っていて、授業の振り返りにとても役に立つシステムだと思います。今後も使っていきたいです。



ライフデザイン学部  
生活デザイン学科 1年

授業中にノートの記録が追いつかないときに録画を見直してノートを作成しています。レポート課題が出された時にも、授業を見返してレポートを作成することができるので、とても役立っています。

# 対面授業 を 自動録画

東北工大、学生用に公開

東北工大（仙台市）が対面授業の様子を自動録画し、学生の復習用に公開する取り組みを始めた。新型コロナウイルス禍で導入したオンライン授業は「何度でも見返せる」と好評だったため、新たな学習支援策として対面授業も収録することにした。

自動録画は4月に開始。教室の天井や後方に

取り付けられたカメラで黒板と教員用パソコンの2画面を録画し、教員の声を小型マイクで拾う。黒板の片隅には「授業を録画しています」のステッカーが張られている。

八木山、長町両キャンパス（太白区）の全46教室のうち33教室にカメラを設置し、全授業の8割をカバーする。動画は数日以内に学内の学修支援システム「ウェブ・クラス」に載せ、履修学生に限って公開。オンライン上の時間割から希望する授業が見られる。過去1年分を保存する。

コロナの濃厚接触者や体調不良で自宅静養する学生なども利用でき、事前申請が認められればリアルタイムでも配信を受けられる。建築学部2年の遠藤翔さん(19)は「対面授業で聞き取りにくかったり、板書が見えにくかったりしたときに使う。試験が近づいたら、もっと活用したい」と歓迎する。

録画システムは昨年度、オンライン授業の事前収録や生配信のため8教室で導入した。小林正樹副学長は「コロナ対応として始めたが、ICT（情報通信技術）を活用した学習支援サービスに発展した。教員も互いの授業を見て参考にすれば、教育の質向上にもつながる」と期待する。

事業費は約9500万円で、うち約1600万円は国が補助する。全教室にカメラを設置し、全授業を配信することも今後検討する。



自動録画されている授業の様子を黒板に張られるステッカー

コロナ禍 オンライン授業導入▶▶「見返せる」好評▶▶新たな学習支援策に

2022.5.13 河北新報

## 授業録画配信システムイメージ

